

医療法人財団慈生会野村病院 回復期病棟を退院された方へ

野村病院 リハビリテーション科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、過去に回復期病棟を退院された方の心身機能と退院先の関係性をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

対象となる方	2022年4月1日～2023年3月31日に当院回復期病棟を退院された方
研究課題名	決定木分析を用いた当院回復期リハビリテーション病棟における在宅復帰の要因 (倫理委員会承認番号 J2024-001)
単独・他施設	医療法人財団慈生会 野村病院 単施設研究
主任研究者	医療法人財団慈生会 野村病院 佐藤優樹
本研究の目的	入退院時の心身機能・同居人の有無・介護保険の等級と退院先の関係性を調査し、自宅退院に必要な能力と社会的要因を調査します。
研究の背景	入院時の日常生活動作の自立度(FIM の点数が高ければ自立度が高いと言える)と退院先の関係性については論文で報告されています。また、その際の介護保険の等級や同居人の有無といった社会的要因の関係性についても報告されています。しかし、どの動作がどの程度自立していれば自宅退院の可能性が高くなるか、社会的要因を含め検討したものはありません。そこで今回、下記情報をカルテから抜粋し、決定木分析という統計手法を用いまして研究を行います。決定木分析とはデータから決定木を作成して予測や検証をする手法であり、決定木分析を用いることで下記情報の中で自宅退院のために優先して獲得すべき日常生活動作およびその点数、自宅退院に向け考慮が必要になる社会的要因を明確にします。また、その結果に基づいて、今後のリハビリテーションに活用していきます。
利用する情報	性別、年齢、在院日数、発症から回リ転院までの日数、入院時・退院時の FIM 点数（運動 FIM、認知 FIM、FIM 総得点）同居人の有無、発症前の介護保険の介護度、退院時の要介護度
研究実施期間	病院長承認日～2025年8月31日
個人情報の取り扱い	お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は 2030年8月31日まで保存いたします。その後、個人が特定できる記録や受診者 ID との対応表などは破棄されます。個人が特定できない研究の解析結果は破棄されません。本研究に関わる記録・資料の保管責任者は野村病院リハビリテーション科佐藤優樹となります。
研究の方法等に関する資料の閲覧について	本研究対象者の方とご家族の方で希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。
相談窓口 お問い合わせ先	医療法人財団慈生会 野村病院 リハビリテーション科 佐藤優樹 電話 0422-47-4848 (代表)
備 考	